

1938
 東京
 労働組合

當ノ審議期間を境へて、各々必要を以て製造家側へ之を提議ニ
 合ハル日四十六名ノ井端員を召集シ、謝辭を重キ提議家側ニ對シテ
 拙ノ筋ヲハ直感ニ對シテ、各業員ノ團結々々、京橋國産器製造業員聯
 業員ニ申送ルベシ。

由イテ各社出資業員ノ賛同ニ際シテ、其ノ旨ハ、昨日實行スル旨、
 國産器製造同業聯合へ去ル日十五日、國産器聯合を閉鎖シ、不承を懸
 京橋ニ就テ、國産器製造業員二百餘名ニ對シテ、臨場シ、モ、ハ、京橋

謝辭書 赤田 第一 願 願

大洲支店 藤 野

大五十三平八日二日

財團法人協調會大阪支所

附シタ。

七月十八日從業員側ハ再ビ製造家側ニ對シ來ル二十日午後七時下
 京區馬町通東山線東入木村愛太郎方ニテ面會致シ度シト申込
 ガ製造家側ハ面會ノ必要ナシト之ヲ拒絕シタ。

七月二十日從業員側ハ下京區泉涌寺町即成寺ニ組合總會ヲ開キ三
 百五十餘名集合、左ノ決議ヲナシ製造家側ト戰フ事ト成ツタ。

決 議

一、二割値下ヲ否認スルコト

二、交渉委員ヲ選ビ製造家ヲ個々ニ訪問シテ交渉ヲナスコト

三、解決迄ハ罷業ヲ繼續スルコト

而シテ直チニ組合代議員四十六名ヲ交渉委員ニ選ンダ、尙二十二
 日ハ嵐山ニ運動會ヲ行ヒ二十三日、二十四日ノ兩夜ハ馬町通東山
 線三島神社内ノ本部ニ於テ演說會ヲ開催スル等結束ヲ怠ラヌ。
 二十四日夜松原警察署長松岡山清松ノ斡旋ニ依リ同署内ニ製造家